

平成22年度一般会計当初予算説明資料

6款 農林水産業費

4項 林業費

2目 林業振興費

森林・林業総室（内線：7297）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
原木しいたけ生産チャレンジ支援事業	8,698	8,448	250				8,698	
トータルコスト	16,766千円(前年度 16,733千円)[正職員1.0人]							
主な業務内容	周知説明、補助金交付事務							
工程表の政策目標(指標)	原木しいたけの生産量（乾しいたけ）の増加（生産目標：35t）							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

鳥取椎茸の一層の品質向上と生産量の増大を図るため、規模拡大を行う生産者や施設整備を行う新規生産者に対して支援する一方、新規参入を希望する者を対象に研修を行う。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区分	事業内容	事業主体	事業費	予算額	補助率
生産拡大支援事業	植菌本数1,000本以上/年の規模拡大を行う生産者又は、1人平均1,000本以上拡大させることができる各農協又は地区の椎茸生産部に對し、ほだ木生産経費を助成	1,000本以上の規模拡大を行う生産者	5,515	5,515	定額 (100本当り 5,000円助成)
新規生産者施設整備事業	新規生産者に対し生産に必要な設備導入に要する経費を助成	原木しいたけ新規生産講座の卒業生で3,000本以上の経営を目指す生産者	5,360	1,580	県 1/3
鳥取県しいたけ品評会開催事業	鳥取県しいたけ品評会において、生産者の顕彰を行うことで、生産意欲向上に繋げるため、表彰式を主催	鳥取県しいたけ品評会実行委員会	285	285	負担金
原木しいたけ新規生産講座	県内で原木椎茸栽培を新規で始めた方を対象に研修を行う	委託先： (財)日本きのこセンター	808	808	委託料
県事務費			510	510	
合計			12,478	8,698	

3 これまでの取組状況、改善点

- (1) 生産拡大支援事業(H20～)を活用し、89名の生産者が規模拡大を実施。また、施設整備事業を活用し、新規生産者が乾燥機8台、スライサー4台を整備。
- (2) 原木しいたけ新規生産講座の受講生は平成17年度から5年間で101名に達し、うち40名が椎茸生産に取り組み。
- (3) 新規生産者の育成と生産基盤の整備などを促す総合的支援として、本事業が原木椎茸生産量の増加や品質向上に果たす役割は大きい。
- (4) 原木椎茸生産講座において、平成22年度から新規生産者がスムーズに取り組めるよう、経営シミュレーションを追加するなど研修内容を充実。